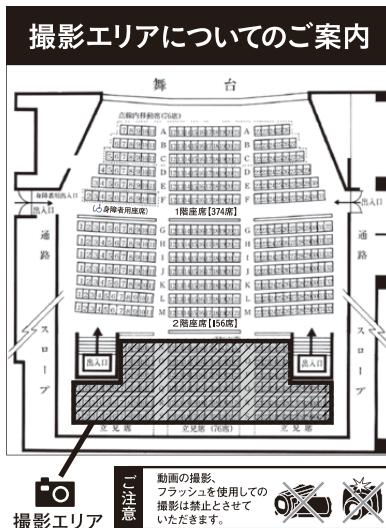


「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラ・携帯電話等での**動画撮影は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。



11月11日のタイムスケジュール

出演：郷之崎神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『鍾馗』

(およそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『大江山』

(およそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もいただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ごうのさきかくらだん

郷之崎神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

郷之崎神楽団は、広島県山県郡北広島町(旧大朝町)新庄の龍山八幡神社を氏神社とする神楽団で、現存する資料によると1860年くらいには活動していたようです。

島根県邑南町(旧石見町)の矢上の神楽団から石見神楽を伝授され、その伝統を今まで守ってきました。

なかなか若い団員が入らず、現在10数名程度で活動しています。見た目は地味な旧舞ですが、郷之崎の神楽を大事にし、これからも伝承していきますので、ご声援よろしくお願い申し上げます。

第一幕『鍾馗』(しょうき)

「鍾馗」は中国や日本に伝わる魔除けの神様です。

備後風土記には、みすぼらしい姿の武塔神(むとうしん)が一夜の宿を頼み、貧しいながらも温かくもてなした家族に「茅の輪(ちのわ)」を腰に巻くよう言い残し、村中に疫病が流行った際にその家族は助かったという伝説があります。

神楽の演目「鍾馗」はこの伝説などから創作された物語で、須佐之男命(すさのおのみこと)の化身が鍾馗大神と名乗り、民の命を奪おうとする大疫神(だいえきしん=疫病の神)と戦います。

姿なき大疫神を左手に持つ茅の輪で捕らえ、右手の剣で見事退治します。

【出演】

大太鼓 … 出上 毅	鍾馗大神 … 門出 佳大
小太鼓 … 宇川 友勝	大疫神 … 栗栖 賢介
手打鉦 … 清水 繁昭	
笛 … 住川 裕江	

第二幕『大江山』(おおえやま)

平安時代の中頃、丹波の国・大江山に酒呑童子(しゅてんどうじ)という悪鬼が多くの手下を従えて立てこもり、都はもとより付近一帯の村里に出没し、悪事の限りを尽くして庶民を苦しめていました。

時の帝は、源頼光(みなもとらいこう)に童子征伐の勅命を下し、頼光は四天王の一員・坂田金時(さかたのきんとき)を連れ、大江山へと向かいます。頼光たちが大江山のふもとに辿り着くと、童子にさらわれたという都生まれの姫と出会い、鬼の岩屋まで案内させます。

頼光たちは、言葉巧みに童子たちに毒酒を飲ませ、酔い伏したところを一気に切り込みます。罨にかかると知った童子たちは怒り狂って襲い掛かりますが、頼光の武勇によって見事退治されるという物語です。

【出演】

大太鼓 … 森田 隆司	源頼光 … 門出 佳大	酒呑童子 … 森脇 道男
小太鼓 … 栗栖 太	坂田金時 … 宇川 友勝	茨木童子 … 佐伯 裕幸
手打鉦 … 清水 繁昭	姫 … 清水 学	
笛 … 横田 数則		

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。